



秋の味覚を味わい尽くせ

「根室のカニ・サンマは
なまらうまいべー！」

根室を代表する秋の味覚のイベント「根室かに祭り」と「根室さんま祭り」が次々に開催され、会場となった根室港は多くの観光客などでにぎわいを見せました。

9月3日と4日に開かれた「根室かに祭り」は、天候の関係で屋内での開催となりましたが、会場には真っ赤にゆであがった花咲ガニが所狭しと並び、特設ステージでは、歌謡ショーやカニの抽選会などが行われ、観客を楽しませてくれました。恒例の「カニ取り合戦早食い競争」には、市民をはじめ道内外からの観光客など30人が参加し、90秒とい

う短い時間の中で白熱した戦いが繰り広げられ、一心不乱にカニをほお張る参加者の姿に、大きな歓声と拍手が沸き起こっていました。17日と18日に開かれた「根室さんま祭り」では、サンマの炭火焼きが無料で楽しめるとあって、多くの観光客や市民が詰め掛け、根室産



旭川から訪れ根室サンマのうまさに感激



勢いよくカニをほおばる「早食い競争」

の脂が乗った新鮮なサンマが配られると、早速受け取ったサンマを焼き始め、祭り会場はサンマが焼ける芳ばしい香りに包まれました。また、毎年大人気の「さんまつかみ取り大会」には長蛇の列ができ、冷たい氷水の中にぎっしりと詰まるサンマをすくおうと、多くの人が挑戦しました。両腕いっぱいにはさみ上げたサンマに、挑戦者は満足そうな笑顔をみせていました。9月は、根室が誇る「食の秋」を彩るイベントがめじろ押しとなり、来場者のお腹も心も満たされる秋となりました。



記念セレモニーに感激

道の駅「スワン44ねむろ」の入館者数が、200万人を達成しました。

記念の200万人目の入館者となったのは、夏休みを利用して、2週間かけて北海道1周の旅を楽しもうと、愛知県から訪れた伊藤憲昭さんと孫の後藤貴浩さんでした。

館内では、記念のセレモニーが行われ、関係者から花束と花咲ガニや根室産水産物の詰め合わせなどの記念品が贈られ、伊藤さんは「あまりに突然のことで言葉にならないが、とてもうれしいです。今日は記念の日となりました。」と、思わぬ幸運に感激の笑顔を見せていました。



踏み出す一歩、近さを実感

「第7回北方領土まで歩こう会」4日 国後島、水晶島、貝殻島までの距離を歩く「北方領土まで歩こう会」が、あいにくの海霧にもかかわらず、千人余りが参加し開催されました。

参加者は「一日も早い返還を」など、領土返還へのメッセージが書かれたゼッケンを胸に、ゴールの納沙布岬を指すと、「あっという間にゴールすることができました。」と、あらためて四島の近さを実感しながら快い汗をぬぐっていました。

続いて行われた「返還祈願フェスティバル」では、水晶コースに参加したゲストウォーカーのサッカー解説者松木安太郎さんのトークショーで、会場はにぎわいを見せました。